

選手村のマットレス エアウィーヴが寄贈

内田社長室長(左)にマットレスの使い心地を伝える児童＝日進市岩崎町の中日青葉学園で



寝具メーカーのエアウィーヴ(東京)は十二日、東京五輪・パラリンピックの選手村に提供したマットレス百十四枚を、日進市の児童福祉施設「中日青葉学園」に寄贈した。

同社は二〇二〇年に中日産業技術賞の中日新聞社賞を受賞。表彰時に百万円を中日新聞社会事業団に寄付している。今回は幸田町に工場があることから「県内の子ども向けの福祉事業に」と寄贈を決

日進 中日青葉学園に114枚

めた。選手村で使用されたマットレスをクリーニングし、十九日までに、十八歳までの子どもが暮らす居室のベッドに運び込む。

この日は社長室の内田祐一室長が搬入に立ち会った。子どもたちは早速、跳びはねたり寝そべったりして使い心地をチェック。内田室長は「成長期に必要な質の高い睡眠を提供できれば」と健康を願っていた。

(長坂幸枝)